

2023年7月31日

 上場会社名 株式会社 山陰合同銀行  
 コード番号 8381 URL <https://www.gogin.co.jp>

上場取引所 東

 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 山崎 徹  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 田中 良和 TEL 0852-55-1000  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 特定取引勘定設置の有無 無

 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	29,536	9.9	3,579	49.6	2,311	53.3
2023年3月期第1四半期	32,789	50.2	7,114	53.2	4,950	43.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 8,835百万円 ( %) 2023年3月期第1四半期 25,398百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第1四半期	14.98	14.96
2023年3月期第1四半期	31.73	31.69

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,768,095	318,867	4.7
2023年3月期	6,877,489	313,208	4.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 318,383百万円 2023年3月期 312,649百万円

 (注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期		17.00		17.00	34.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		18.00		18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	53,700	4.1	7,700	40.0	5,200	41.5	33.66
通期	111,100	1.4	23,300	7.2	16,000	3.4	103.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P.7「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	156,977,472 株	2023年3月期	156,977,472 株
2024年3月期1Q	3,077,041 株	2023年3月期	2,502,655 株
2024年3月期1Q	154,288,906 株	2023年3月期1Q	155,989,801 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注)2023年3月期及び2024年3月期1Qの期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当行株式数(いずれも1,019,200株)を含めておりません。また、2023年3月期1Q及び2024年3月期1Qの期中平均株式数(四半期累計)を算定するにあたり、株式給付信託(BBT)が保有する当行株式の期中平均株式数(794,000株及び1,019,200株)を控除する自己株式数に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 添付資料の目次

<b>1. 当四半期決算に関する定性的情報</b> . . . . .	<b>P. 2</b>
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 . . . . .	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 . . . . .	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 . . . . .	2
<b>2. 四半期連結財務諸表及び主な注記</b> . . . . .	<b>3</b>
(1) 四半期連結貸借対照表 . . . . .	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 . . . . .	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 . . . . .	7
(継続企業の前提に関する注記) . . . . .	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) . . . . .	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) . . . . .	7
<b>3. 四半期決算説明資料</b> . . . . .	<b>8</b>
(1) 利益の状況 (連結) . . . . .	8
(2) 利益の状況 (単体) . . . . .	8
(3) 預金・貸出金・有価証券の状況 (単体) . . . . .	9
(4) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況 (連結) . . . . .	10
(5) 有価証券の評価差額の状況 (連結) . . . . .	10
(6) 自己資本比率 (国内基準) . . . . .	10
<追加説明資料> . . . . .	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当行は、経営理念「地域の夢、お客様の夢をかなえる創造的なベストバンク」のもと、地域のリーディングバンクとして、「地域のお役に立つ」ことを基本方針として掲げております。これに基づき『No. 1の課題解決力で持続的に成長する広域地方銀行』を長期ビジョンと定め、グループ一体となって地域・お客様の課題解決に多角的に取り組んでおります。

当行グループでは、以前より、リレーションシップバンキングやコンサルティング活動、地方創生、地域貢献活動などを通じて社会・環境問題を解決することで、地域と当行グループがともに成長する持続可能な地域社会の実現を目指しております。

社会・経済活動はコロナ禍から平常時に戻りつつある中、行政サポートは縮小傾向にあります。当行グループでは、お取引先の資金繰りをしっかり支え、事業面ではコロナ禍からの回復、成長軌道に繋がるサポートを充実させてまいります。2023年5月には、連結子会社内に人材紹介業務にかかる専門部署を立ち上げ、サービス内容を充実させております。

このような中、当第1四半期連結累計期間の経常利益は前年同期比35億35百万円減少の35億79百万円（中間期業績予想比進捗率46.4%）となりました。これは、貸出金利息や役務取引等利益など銀行の本業分野での利益は増加しましたが、有価証券利息配当金の減少、海外金利上昇を受け資金調達コストが上昇したことなどに加えて、外国証券の売却に伴う債券売却損を計上したことなどが主因となっています。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比26億39百万円減少の23億11百万円（同44.4%）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

預金等（譲渡性預金を含む）は、期中117億円増加し、5兆6,590億円となりました。これは、法人・金融機関部門で減少した一方で、個人・公金部門において増加したことによるものです。

貸出金は、地方公共団体向け貸出で減少した一方で、個人・法人・金融機関向けともに増加したことから、期中198億円増加し、4兆3,427億円となりました。

有価証券は、外国債券を中心に売却を実施したことなどにより、期中198億円減少し、1兆5,426億円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

2023年5月12日に公表した2024年3月期中間期及び通期の業績見通しに変更はありません。

なお、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	820,839	716,681
コールローン及び買入手形	3,271	652
買入金銭債権	13,159	12,619
金銭の信託	4,988	4,997
有価証券	1,562,511	1,542,670
貸出金	4,322,918	4,342,785
外国為替	4,768	3,408
リース債権及びリース投資資産	28,179	27,869
その他資産	66,333	69,349
有形固定資産	34,701	34,497
無形固定資産	3,854	3,673
退職給付に係る資産	4,150	4,474
繰延税金資産	35,521	31,962
支払承諾見返	13,334	14,661
貸倒引当金	△40,886	△42,061
投資損失引当金	△156	△148
資産の部合計	6,877,489	6,768,095
<b>負債の部</b>		
預金	5,508,349	5,492,663
譲渡性預金	138,957	166,398
コールマネー及び売渡手形	98,812	37,697
債券貸借取引受入担保金	106,426	75,482
借入金	586,637	585,300
外国為替	7	384
その他負債	97,394	63,900
賞与引当金	957	—
退職給付に係る負債	9,147	8,987
株式給付引当金	414	445
役員退職慰労引当金	58	54
睡眠預金払戻損失引当金	252	241
その他の偶発損失引当金	804	861
繰延税金負債	674	98
再評価に係る繰延税金負債	2,050	2,049
支払承諾	13,334	14,661
負債の部合計	6,564,281	6,449,227

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
資本金	20,705	20,705
資本剰余金	22,058	22,058
利益剰余金	310,618	310,281
自己株式	△1,847	△2,298
株主資本合計	351,535	350,747
その他有価証券評価差額金	△36,842	△30,589
繰延ヘッジ損益	△3,020	△2,861
土地再評価差額金	2,331	2,329
退職給付に係る調整累計額	△1,354	△1,241
その他の包括利益累計額合計	△38,886	△32,363
新株予約権	103	30
非支配株主持分	455	453
純資産の部合計	313,208	318,867
負債及び純資産の部合計	6,877,489	6,768,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
経常収益	32,789	29,536
資金運用収益	15,964	16,929
(うち貸出金利息)	9,732	12,076
(うち有価証券利息配当金)	5,590	3,781
役務取引等収益	3,365	3,895
その他業務収益	8,823	4,121
その他経常収益	4,635	4,590
経常費用	25,674	25,956
資金調達費用	464	1,899
(うち預金利息)	215	283
役務取引等費用	1,071	1,127
その他業務費用	13,707	11,371
営業経費	10,318	10,276
その他経常費用	113	1,281
経常利益	7,114	3,579
特別利益	38	0
固定資産処分益	38	0
特別損失	80	27
固定資産処分損	4	15
減損損失	76	12
税金等調整前四半期純利益	7,072	3,552
法人税、住民税及び事業税	1,576	1,001
法人税等調整額	555	240
法人税等合計	2,131	1,241
四半期純利益	4,940	2,310
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,950	2,311

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	4,940	2,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,824	6,254
繰延ヘッジ損益	△2,697	158
退職給付に係る調整額	183	112
その他の包括利益合計	△30,338	6,525
四半期包括利益	△25,398	8,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,388	8,835
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	0



**(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項**

**(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

**(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)**

当行は、2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において、自己株式678,000株の取得を行っております。この結果、単元未満株式の買取による取得等も含めて、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が451百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が2,298百万円となっております。

**(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)**

**(税金費用の処理)**

一部の連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

### 3. 四半期決算説明資料

#### (1) 利益の状況 (連結)

連結ベースの経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の状況は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)連結経営成績に関する定性的情報」に記載のとおりです。

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自2022年 4月 1日 至2022年 6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2023年 4月 1日 至2023年 6月30日)	増 減	(参 考) 中間期予想計数 (自2023年 4月 1日 至2023年 9月30日)
経常収益	32,789	29,536	△3,253	53,700
経常利益	7,114	3,579	△3,535	7,700
親会社株主に帰属する四半期(中間)純利益	4,950	2,311	△2,639	5,200

(注) 「(参考)中間期予想計数(自2023年4月1日 至2023年9月30日)」は、2023年5月12日に公表したものです。

#### (2) 利益の状況 (単体)

当行単体の経常利益は、前年同期比59億円減少の10億円(中間期業績予想比進捗率14.7%)となりました。これは、貸出金利息や役員取引等利益など銀行の本業分野での利益は増加しましたが、有価証券利息配当金の減少、海外金利上昇を受け資金調達コストが上昇したことなどに加えて、外国証券の売却に伴う債券売却損を計上したことなどが主因となっています。また、四半期純利益は前年同期比42億円減少の7億円(同14.1%)となりました。

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年 4月 1日 至2022年 6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2023年 4月 1日 至2023年 6月30日)	増 減	(参 考) 中間期予想計数 (自2023年 4月 1日 至2023年 9月30日)
経常収益	28,850	22,970	△5,880	45,400
業務粗利益	12,475	10,019	△2,456	
資金利益	15,580	15,094	△486	
うち投資信託解約益	1,349	422	△927	
役員取引等利益	2,126	2,565	439	
その他業務利益	△5,232	△7,639	△2,407	
うち債券関係損益	△6,270	△5,841	429	
経費(除く臨時費用処理分)	9,672	9,700	28	
うち人件費	4,949	4,706	△243	
うち物件費	3,741	4,092	351	
一般貸倒引当金繰入額 (A)	-	577	577	
業務純益	2,802	△257	△3,059	6,600
実質業務純益	2,802	319	△2,483	
コア業務純益	9,073	6,160	△2,913	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	7,723	5,738	△1,985	13,600
臨時損益	4,269	1,350	△2,919	
うち不良債権処理額 (B)	△28	620	648	
うち個別貸倒引当金繰入額	-	573	573	
うち貸倒引当金戻入益 (C)	355	-	△355	
うち株式等関係損益	3,261	885	△2,376	
うち退職給付費用(臨時費用処理分)	263	161	△102	
経常利益	7,071	1,092	△5,979	7,400
特別損益	△45	△26	19	
税引前四半期純利益	7,026	1,065	△5,961	
法人税等合計	2,080	359	△1,721	
四半期(中間)純利益	4,945	705	△4,240	5,000
《参考》与信費用(A)+(B)-(C)	△384	1,197	1,581	2,000

(注) 1. 「(参考)中間期予想計数(自2023年4月1日 至2023年9月30日)」は、2023年5月12日に公表したものです。

2. 実質業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額

3. コア業務純益=実質業務純益-債券関係損益

4. コア業務純益(除く投資信託解約損益)=コア業務純益-投資信託解約損益  
(投資信託解約損益は債券関係損益に計上しております)

(3) 預金・貸出金・有価証券の状況(単体)

預金等(譲渡性預金を含む)は、期中113億円増加し、5兆6,702億円となりました。これは、法人・金融機関部門で減少した一方で、個人・公金部門において増加したことによるものです。貸出金は、地方公共団体向け貸出で減少した一方で、個人・法人・金融機関向けともに増加したことから、期中206億円増加し、4兆3,641億円となりました。有価証券は、外国債券を中心に売却を実施したことなどにより、期中177億円減少し、1兆5,420億円となりました。

① 期末残高

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年6月末	増減
預金等	5,658,895	5,670,274	11,379
預金	5,519,938	5,503,876	△16,062
譲渡性預金	138,957	166,398	27,441
貸出金	4,343,479	4,364,146	20,667
うち消費者ローン	1,117,812	1,149,355	31,543
住宅ローン	999,467	1,030,805	31,338
その他ローン	118,345	118,550	205
有価証券	1,559,753	1,542,046	△17,707

② 期中平均残高

(単位：百万円)

	2022年度 第1四半期累計期間	2023年度 第1四半期累計期間	増減
預金等	5,110,292	5,744,577	634,285
預金	4,937,271	5,597,234	659,963
譲渡性預金	173,021	147,342	△25,679
貸出金	3,917,866	4,340,779	422,913
有価証券	1,759,924	1,585,460	△174,464

(ご参考) 預り資産残高

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年6月末	増減
当行 年金保険(※1)	176,054	177,019	965
野村証券(株) 仲介口座(※2)	646,546	704,466	57,920
債券	125,413	127,740	2,327
株式	179,315	197,287	17,972
投資信託	251,268	282,997	31,729
投資一任勘定	86,025	91,967	5,942
その他	4,523	4,472	△51

※1 「当行 年金保険」には、一時払個人年金保険の販売累計額を記載しております。

※2 「野村証券(株) 仲介口座」には、野村証券株式会社との包括的業務提携による、同社を委託元とする金融商品仲介口座の残高を記載しております。

(4) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況（連結）

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年6月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,741	18,739	2,998
危険債権	31,150	30,199	△951
要管理債権	14,670	15,060	390
三月以上延滞債権	92	92	-
貸出条件緩和債権	14,577	14,967	390
小計（リスク管理債権）（A）	61,562	64,000	2,438
正常債権	4,398,297	4,417,608	19,311
総与信(合計)（B）	4,459,859	4,481,608	21,749

不良債権比率（%）（A） / （B）	1.38	1.42	0.04
--------------------	------	------	------

(注) 当行は、部分直接償却を実施していません。

(5) 有価証券の評価差額の状況（連結）

その他有価証券の評価差額は、評価損の生じている外国証券等の一部売却を実施したことにより、期中88億円増加し△439億円となりました。

(単位：百万円)

	2023年3月末				2023年6月末			
	時価	評価差額	うち		時価	評価差額	うち	
			益	損			益	損
その他有価証券	1,444,197	△52,844	48,504	101,349	1,422,298	△43,966	53,372	97,339
株式	41,815	29,014	29,309	295	43,549	30,961	31,148	186
債券	586,473	△1,021	9,715	10,737	620,773	1,385	10,544	9,158
国債	259,611	1,560	8,707	7,146	293,834	2,920	9,405	6,484
地方債	265,863	△2,086	560	2,646	267,506	△1,341	686	2,028
短期社債	-	-	-	-	-	-	-	-
社債	60,999	△496	447	944	59,433	△193	452	646
その他	815,908	△80,837	9,479	90,316	757,974	△76,314	11,678	87,993
外国証券	258,262	△28,206	191	28,397	199,437	△24,712	59	24,772
その他の証券(投資信託等)	557,645	△52,630	9,288	61,918	558,537	△51,601	11,619	63,220

(単位：百万円)

	2023年3月末				2023年6月末			
	帳簿価額	含み損益	うち		帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損			益	損
満期保有目的の債券	95,306	△739	33	773	95,419	△465	69	535

(6) 自己資本比率（国内基準）

自己資本比率（国内基準）については、現在集計作業中であり、計数が確定次第、別途お知らせします。

<追加説明資料>

中間期業績予想に対して、単体および連結の進捗率は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	単体			連結		
	2023年度 第1四半期 累計期間	2023年度 中間期 予想計数	中間期 業績予想比 進捗率	2023年度 第1四半期 連結累計期間	2023年度 中間期 予想計数	中間期 業績予想比 進捗率
経常収益	22,970	45,400	50.5%	29,536	53,700	55.0%
経常利益	1,092	7,400	14.7%	3,579	7,700	46.4%
最終利益	705	5,000	14.1%	2,311	5,200	44.4%
業務純益	△257	6,600	—			
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	5,738	13,600	42.1%			

(注) 2023年度中間期予想計数は、2023年5月12日に公表したものです。

貸出金利息や役務取引等利益など、銀行の本業を示すコア業務純益は、順調に推移しています。  
(前年同期比で貸出金利息23億円増加、役務取引等利益4億円増加)

一方、評価損の生じている外国証券の年間売却計画を前倒しで実施し、債券売却損を計上しています。

その結果、経常利益、最終利益等、中間期業績予想比進捗率が50%を下回る状況となりましたが、本業の業績が順調であることに加え、第2四半期以降、有価証券の利回り改善などが見込まれることから、2023年5月12日に公表いたしました2023年度中間期/通期業績予想に変更の予定はありません。